

自動運転の導入を巡る国際的動向

- 国連欧州経済委員会 (UN-ECE) の政府間会合 (WP29) において自動車の安全・環境基準に関する国際調和活動を実施しているところ。
- 平成26年11月に開催されたWP29において、自動運転について議論する「自動運転分科会」を立ち上げることが合意された。この分科会では日本と英国が共同議長に就任し、自動運転に関する国際的な議論を主導している。
- また、平成27年2月に開催されたGRRF (副議長: 日本) において、「自動操舵専門家会議」を立ち上げることが合意された。この会議では、日本とドイツが共同議長に就任し、現在10km/h超での使用が禁止されている自動操舵に関する規則改正を主導することとなる。



会議体	日本の役職	最近の主な成果
① 自動運転分科会	UKとの共同議長	平成26年11月: 自動運転分科会の設立が決定 (第1回: 12月19日、第2回: 2月9日) ・ドライバー支援型自動運転についての検討 (平成27年11月まで) ・完全自動運転についての検討 (適宜実施)
② ブレーキと走行装置 (GRRF) 専門分科会	副議長 (議長 UK)	(1) 衝突被害軽減ブレーキをはじめ、自動運転技術に関する各種基準案を関係主要国の合意の下、取り纏め。 (2) 平成27年2月より自動運転に関するアジェンダ設置、自動運転の議論促進
自動操舵専門家会議	ドイツとの共同議長	平成27年2月: 自動操舵専門家会議の設立が決定 (第1回: 4月予定) ・現在10km/h超で使用が禁止されている自動操舵に関する規則改正についての検討